

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、その「はじめの一步」のきっかけになるような記事を掲載しています。

平成23年度ボランティア講座 認知症サポーター 養成講座 開催しました。



講師の田中氏

11月30日に、民生委員・児童委員を対象に認知症サポーター養成講座をふみらぼにて開催しました。

認知症サポーター養成講座では、認知症を病気の症状として正しく理解し、認知症の人とその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を多数養成することで、年をとって認知症になっても、誰もが安心して暮らせる町を住民の手によってつくっていくことを目指しています。

認知症サポーターはなにか特別なことをする人ではありません。認知症の人に対する適切な対応を学び、自分の身の回りで出来る範囲で活動します。

講座では、認知症について学び、認知症の方にどのような対応をすればよいか、実際にロールプレイをしながら学びました。



ロールプレイの様子

受講した方には、「認知症の方を支援します」という意思を示すオレンジリングが渡されます。

「とても参考になりました。人ごとではない、誰でもかかる病気との認識ができた。優しくかわってあげたい！」

「亡くなった母の事を思い出して、そうだったのかと思い、自分の対応を反省しました。早く勉強すべきでした。」

...アンケートより

一驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない、この3つが認知症の方に対応する時の心得です。

3月に認知症サポーター養成講座を開催する予定ですので、ぜひご参加ください！次号、詳細をお知らせします。



まちでがんばるボランティア～秋の行事に参加したボランティア・スタッフのみなさん～



わかくす秋祭りで会場設営を手伝う柳井さん(左)

様々な行事が行われた昨年の秋。わかくす秋祭り(11月13日)には、大学生の柳井さんが朝早くから会場設営のお伝いをしました。同日のうみこい祭りでは、宇美町在住の松山さんと、昨年に引き続き須恵高校の生徒さん12名が販売のお手伝いなどに参加しました。実行委員の皆さんはもちろん中学生のジュニアリーダーさんや高校生以上のシニアリーダーさんも、多くの皆さんが宇美町の活気づくりに一役買ってくださり、秋の行事を盛り上げていました。



宇美町商工会青年部の販売を手伝う松山さん(左)と須恵高校生徒たち(中央・右)

編集後記: 新年が始まりました。今年も宇美町が元氣よく、やさしくなっていく活動を支援していきます。皆様からのボランティアの情報もお待ちしています。どうぞ、本年もふみらぼをよろしくお願いいたします。(K. E)

